

社会福祉法人
青葉福祉会

松寿園だより

特別養護老人ホーム
松寿園

兵庫県丹波市水上町
新郷1705

電話 (0795)
82-4766番

それぞれの笑顔がステキです



「終わりをく夏」



施設長 山口 和也

今年ほど暑さが厳しい年は記憶にありません。連日猛暑日が続く各地で最高気温を更新しているのが現状です。松寿園でも各居室・ローカ・ホールのクーラーをフル回転して温度管理をしています。熱中症とクーラーの働き過ぎによる夏風邪を心配して、早く涼しくなって欲しいと祈るばかりです。

さて、松寿園は夏祭りも盛況に終了し、次は9月に敬老会、10月の松寿園祭と行事が続きます。実行委員会を中心に計画を立てているところですが、昭和55年10月20日の開設から今年で30年を迎えます。一年一年歩んできた足跡を振り返ると様々な出来事があり、私自身も平成元年に就職し、措置から契約の時代（介護保険制度のスタート）を迎えた平成21年4月に施設長に就任し、早10年がたちました。特にこの10年は本当にあつという間の過ぎ去ったように感じます。今立ち止まって思い出すことは沢山の方々の出会いです。ご利用者の皆様とは短い期間の方もあれば、20年以上のなじみの方もありました。そして御家族の方・ボランティアの皆さん・業者の方々・行政の方・他施設・職員等。数え切れない出会いとそして別れの中で、松寿園と共に育てていただき今日を迎えることができていくことに心から感謝をしています。この節目の年にこれからの松寿園の進むべき方向はと聞かれると、やはり今の時代に即した人材育成と医療との連携をはかりながらのケアの確立、そして何より長い間ご不便をおかけしてきましたご利用者の生活の場を新しく立て替えることが私達の使命だと感じています。是非このことを進めていく組織を編成して検討を重ねていきたいと思っておりますので皆様からのご支援、ご指導を賜りますようお願いを申し上げます。暑さ厳しき折、ご自愛下さいまして益々のご健勝をお祈り申し上げます。

平成21年度

決算のあらまし

平成22年5月24日に開催された役員会で平成21年度の決算が承認されました。

平成22年3月31日現在(単位：円)

●青葉福祉社会会計貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	451,934,546	流動負債	24,558,039
固定資産	1,056,628,352	固定負債	89,973,008
		負債合計	114,531,047
		純資産の部	
		基本金	346,292,350
		特別積立金	544,192,622
		次期繰越金	431,496,879
		純資産合計	1,394,031,851
資産合計	1,508,562,898	負債純資産合計	1,508,562,898

●松寿園会計貸借対照表

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	386,698,947	流動負債	14,574,299
固定資産	374,766,009	固定負債	29,994,267
		負債合計	44,568,566
		純資産の部	
		基本金	160,959,751
		特別積立金	156,612,401
		その他の積立金	54,250,000
		次期繰越金	345,074,238
		純資産合計	716,896,390
資産合計	761,464,956	負債純資産合計	761,464,956

新人職員紹介

ケアワーカー

酒井佳代子



利用者様の穏やかな生活を支援していける様に、頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

ケアワーカー

木村 由里



今年2月からお世話になってます。介護の仕事は初めてで、先輩方に色々指導頂きながら、少しでもお手伝いが出来ればと思っています。宜しくお願いします。

ケアワーカー

足立 一成



4月から正職員として働かせて頂いております。質の良い介護を目指して、沢山の事を学びながら支援していきたいと思ひます。宜しくお願いします。

ケアワーカー

高見美智代



今年の2月からお世話になってます。利用者様に安心感を持ってもらえる様、頑張りたいと思ひます。宜しくお願いします。

ケアワーカー

荻野 美香



いつも笑顔で楽しく頑張りたいと思ひます。どうぞ宜しくお願いします。

ケアワーカー

荒木 禎暁



今年の3月からお世話になってます。皆様に日々楽しく過ごしてもらえる様に健康に気をつけて頑張りたいと思ひます。

ケアワーカー

拝野みどり



初めての事ばかりで、一つ一つが勉強です。未熟者ですが宜しくお願いします。

ケアワーカー

村上 幸恵



新しい仕事にチャレンジしてみようとお世話になってます。毎日利用者様の笑顔が見えるよう頑張りたいと思ひます。

ケアワーカー

足立 幸子



初めての事ばかりで利用者の皆様には何かと不安を与えていると思ひますが、毎日楽しく過ごして頂けるよう頑張りたいと思ひます。宜しくお願いします。

ケアワーカー

久下 早貴



8月からお世話になってます。今はまだ勉強中ですが、いつも笑顔で頑張ります。宜しくお願いします。



「節分」

オニに金棒？



お花見弁当もおいしいナー



「カニ祭り」



あまりの美味にニコリ



ウイナーではありません。
カニの足ですよー

「花見」

家族やボランティアの
皆さんと一緒に去了ました。



「ドライブ」



市島の桑山まつりに
ドライブしました。



気持ち良くて、ついウツラウツラ



ハスの葉っぱ、大きいナー



「夏まつり」

家族と一緒にコマ



での

も

「大正琴ボランティア」

ダンスボランティア
「シロー&ファミリーバンド」
来園

みんな楽しそう



「ライム」(来夢)さんの熱演



「琴線会」
大正琴ボランティア



唄や踊りもありました。

松寿園



「運動会」

今年は仲良く
引き分けでした。



赤白 ガンパレー



【ラッキー君】が入居！

トピックス

2月のある日、突然でしたが縁あって「犬」を飼うことになりました。シーズー？の雑種で牡の3歳くらい。なまえは「ラッキー」と言います。

トイレや散歩、食事等の世話も大変ですが、利用者のセラピードッグ？になっているのか判りませんが、少なくとも職員にとっては心が癒される瞬間があります。

ご利用者のご家族が面会の際は「ワン・ワン」と吠えてご迷惑をお掛けしておりますが、温かく見守って頂きますようご理解・ご協力をお願い致します。



【ぼたもち座】が七夕まつりに来園！

7月7日=七夕のイベントに、ご利用者のご家族等で結成されたボランティアグループ【ぼたもち座】が旗揚げ公演として、唄・踊り・一人芝居（馬場の忠太郎）を演じて頂きました。

それぞれ素人とは思えない程、素晴らしい歌声や演技で利用者の皆様も堪能され一人芝居には感極まって涙ぐむ利用者もあるほどでした。

今後も様々な行事のイベントにお世話になりたいと思っています。



全く新しい調理技術

凍結含浸法を用いて



食材そのままの形で有り、歯茎で舌で潰すことができ、又、見た目にも美しく・風味そのままを味わうことができるおいしい嚥下食を日々研究しながら提供しています。

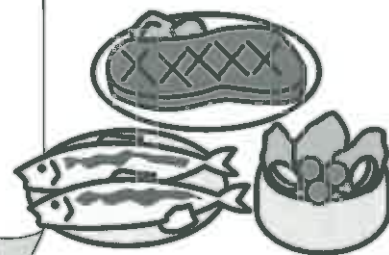


当施設では平成15年5月に真空調理法を導入後、新たに平成22年2月より広島県が開発された凍結含浸法という全く新しい画期的な調理技術と真空調理法とのコラボレーションにより、「vgTORON（ベジとろん）酵素」を含浸及び活性化させ食材の繊維を壊して柔らかくし、食材を軟化させ口の内入れれば歯茎や舌で潰れ、スムーズに飲み込む事ができる高齢者食（嚥下食）を提供し、喜ばれています。

現在は野菜を中心にしてはいますが、魚・肉類も研究中です。

特徴として

- 食材そのものの形で提供
- 各食材の風味を味わうことができる
- 形状はあるが柔らかい
- 各々の咀嚼力に応じることができる
- 栄養豊富な食事提供ができる
- 嚥下食に食事の喜び・食欲増進



魚・肉類も早くに提供できるように調理スタッフ一同研究し続けておりますのでお楽しみに。

《くらしの中から》



オセロをしました。どちらが勝ったのが+



作品づくり、集中しています！



読書の時間
どんな本が+



中庭で育てた「スイカ」を収穫しました。
食べるのが楽しみ！



防火訓練もやっています
(消火器訓練)



丁度食べごろ、
おいしく頂きました。



七夕がざりも
みんなで作りました。



ゴーヤもついています。
夏バテ予防に最高！



みんな真剣に行ないました。(ヘットの搬出)

「まっほっくり」
ーあしがきー

「こ」最近、テレビやニュースなどで、高齢者、特に100歳を越えた方々が本来ならば、家族や周りの方々からお祝いをされるべきはずなのに、実は数十年前から行方不明になっていた—そんな信じられないような悲しい事態が、全国区各地で相次いでいます。

「こ」松寿園」で生活して頂いている利用者の方々は、そんなこともど吹く風といったふうな素敵な笑顔で、夏の暑さにも負けずにお元気に過ごされています。確かにご自宅で最後まで生活をしたいという思いは誰しもがお持ちだとは思いますが、このような出来事があると、施設でもお元気で楽しく暮らせて、家族との時間を大切に過ごせるような環境をつくり、ご家族様も何時でも安心して面会にすることが出来るような場所も必要ではないかと、改めて思いました。

在宅高齢者の「孤独死」や「孤立」をなくすために、「孤立」から「つながり」そして「支え合い」へという「高齢社会白書」のことがありますが、在宅高齢者の限らず施設の中であっても、掛け声だけにしないことが重要ではないかと、ご利用者の方々の笑顔をみながら思う今日この頃です。